

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	各種ボランティアによる森づくり（継続）
流域名	富士
実施箇所及び実施日	静岡県富士宮市・富士市：富士山国有林、静岡県富士総合庁舎 平成22年5月29日、6月26日、平成23年3月12日（予定）
取組の背景及び必要性	主に富士山国有林では、平成8年9月の17号台風による風倒被害跡地の森林復旧・再生にボランティア団体等による森づくりの取組みを実施することで、「富士山国有林地球環境の森」として適切な森林整備及び森づくりを継続しており、情報発信・普及活動等への貢献が期待される。
取組の内容	平成17年5月に「富士山国有林森づくり連絡協議会」を設置し、森林復旧・再生等に向け継続の共同事業として行ってきた。 平成22年度は、①シカ被害対策の現状把握②現状把握を踏まえた検討会の事業等を行い、参加団体の森づくり活動や情報交換を行った。
国有林担当部局・役割	担当：静岡森林管理署 役割：フィールド提供、「富士山国有林森づくり連絡協議会」及び各団体との連絡調整、苗木等の提供。
連携協働相手先・役割	連携相手方：「富士山国有林森づくり連絡協議会」加盟団体・機関、協議会未加盟団体 役割：各団体の会員への周知やHP、各会誌等への掲載、関係団体の内部の連絡調整、参加者募集

【 参 考 資 料 】

タ イ ト ル 各種ボランティアによる森づくり (継続)

静岡県・静岡森林管理署・「富士山国有林森づくり連絡協議会」共同事業
「シカ被害対策地の現状把握」



「柿田川・東富士の地下水を守る会
浅木塚国有林 482 い 16 林小班」
漁網を利用した防護網



「NPO 法人 ドングリの会」
富士山国有林 200 と林小班
ススキを利用



「静岡県 富士山 3776 自然林復元大作戦
富士山国有林 164 ろ 9 林小班
間伐材 (井桁状に組上げ) を利用



静岡森林管理署
富士山国有林 200 わ林小班
金網フェンスを利用した防護柵



シカ被害対策検討会 (静岡森林管理署 会議室)
平成 22 年 6 月 26 日 (土) 実施

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	富士山国有林見学会（継続）
流域名	富士
実施箇所及び実施日	静岡県御殿場市：富士山南山国有林 平成22年10月22日（金）
取組の背景及び必要性	国有林見学会の取組により、国有林が行っている事業と森林・林業の重要性等についてPRを行うことで、理解が深められる。
取組の内容	<p>新聞等で参加者を公募し、富士山国有林に所在する富士山自然休養林内にある西臼塚周辺のハイキングを森林インストラクターによる案内、午後からは近年シカによる食害が多いことからシカ被害対策地や大沢崩れ下流の景観に配慮した治山工事箇所を案内し、森林の役割の重要性への理解を深めていただいた。</p> <p>今年のテーマ ①富士山自然休養林の自然散策 ②シカ被害対策 ③景観に配慮した治山工事 応募者 66名 当日参加者 45名</p>
国有林担当部局・役割	担当：森林インストラクター講師、静岡森林管理署 役割：参加者募集及び案内、富士山緑の回廊等の説明
連携協働相手先・役割	

【 参 考 資 料 】

取 組 名

富士山国有林見学会（継続）



富士山自然休養林内の西臼塚周辺ハイキング
インストラクターによる説明



朝日テレビのインタビューに答える参加者



富士山国有林
シカ被害対策地の案内
上井出森林事務所森林官説明



大沢崩れ下流治山工事箇所見学
集合写真

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林教室・体験林業（継続）
流域名	富士、静岡
実施箇所及び実施日	静岡県富士宮市：富士山国有林 平成22年5月16日、11月6日 静岡県島田市：大代国有林内 平成22年5月19日～5月21日
取組の背景及び必要性	国民が森林・林業に対する関心が高まっている中で、小中学生を対象とした森林環境教育や体験林業を取り組むことにより、森林が地球温暖化防止として一躍を担っているなど、森林・林業の大切さを学び、森林を守り育てる気運の醸成が期待される。
取組の内容	①「富士山緑の募金の森」のボランティア活動に参加の児童、保護者を対象に富士山の動植物の観察による森林教室を行った。 （児童と保護者22名） ② 島田市立金谷中学校の依頼により、2年生による職場体験学習を行った。①林況把握・立木調査②境界巡検（コンパス操作）③炭焼き体験④森林教室等を体験。 （参加者6名 延べ16名）
国有林担当部局・役割	担当：静岡森林管理署 役割：国有林野事業及び森林の役割等の説明、森林教室等の企画・実行
連携協働相手先・役割	連携相手方：県、市町教育委員会、該当校 「富士山緑の募金の森造成事業実行委員会」他 役割：参加者の輸送、安全管理

【 参 考 資 料 】

取 組 名

森林教室・体験林業（継続）

①野外森林教室



動・植物等のカルタで
楽しみながら学ぶ参加者



ビンゴゲームを通し植物等
を観察する参加者

②勤労体験学習



コンパス操作



境界巡検



林況把握



炭焼き等の体験

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	低コスト作業システム現地検討会（新規）
流域名	富士
実施箇所及び実施日	富士山麓の民有地及び富士山国有林293林班 平成22年7月21日（水）
取組の背景及び必要性	富士山国有林での地形・地質・気象条件等を考慮した中で、作業路の線形や工種の配置をどのように行うか等について検討会を開催することによって森林施業の効率化等が図られる。
取組の内容	<p>富士山麓の民有地で実施されている森林・林業再生プラン実践事業地において、静岡県森連の講師から低コスト作業路の作設方法等について説明を受け、その後、富士山国有林293林班における当署の低コスト作業システム実施箇所において、現地の状況を見ながら、作業路作設の線形や工種等の検討会を行った。</p> <p>参加者：静岡県森連、富士森林組合、林業事業体、関東森林管理局、東京事務所、伊豆及び静岡森林管理署 30名</p>
国有林担当部局・役割	<p>担当：静岡森林管理署 役割：各団体との連絡調整</p>
連携協働相手先・役割	<p>連携相手方：静岡県森連 役割：森林・林業再生プラン実践等の講師</p>

【参考資料】

取組名

低コスト作業システム現地検討会



民有地実践事業地視察
富士宮市上井出 人穴地区



民有地実践事業地視察
県森連の説明



民有地
基幹作業路
10t車走行可能



富士山国有林293ろ林小班
作業路作説方法の検討



作業路の線形の検討

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	針葉樹チップ流通（低質材利用）に係る検討会（新規）
流域名	富士
実施箇所及び実施日	①県庁会議室、平成22年4月23日 ②県内製紙工場、平成22年6月14日 ③富士山国有林149い1林小班外、平成22年7月27日 ④県庁会議室、平成22年9月10日
取組の背景及び必要性	民有林及び国有林が連携して、現在、未利用となっているモミや被害木等の低質材について、新たな利用の拡大が図られる。
取組の内容	①静岡県における民有林の動向、地域の森林・林業に係わる動向と国有林における造林・生産等の取組についてお互いが紹介し、民国連携への足がかりとする情報交換を行った。 ②県内の製紙工場を視察し、針葉樹チップの流通に係る情報交換を行った。 ③富士山国有林149い1林小班ほかにおいて、モミ等低質材の針葉樹チップとしての販売の可能性の可否について現地検討会を行った。 ④現地検討会を踏まえて、富士山モミ等低質材等のパルプ材としての事業化の可否について検討会を行った。 参加：①静岡県3名、森林管理署4名。②静岡県3名、木材関連団体2名、森林管理署3名。③静岡県4名、木材関連団体及び関連会社7名、森林管理署3名。④静岡県1名、木材関連団体及び関連会社3名、森林管理署2名。
国有林担当部局・役割	担当：静岡森林管理署 役割：各団体等との連絡調整
連携協働相手先・役割	連携相手方：静岡県、静岡県森連、木材関連団体 役割：森林管理署との連絡調整

【参考資料】

取組名

針葉樹チップ流通（低質材利用）に係る検討会



静岡県内製紙工場視察
移動式チップパー（1日当たり100m³処理可能）



低質材利用に向けての現地検討会（ウラジロモミ）
富士山国有林149い林小班 外